

中国産業概観

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

2022年2月
みずほ銀行(中国)有限公司
中国アドバイザリー部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(1月)

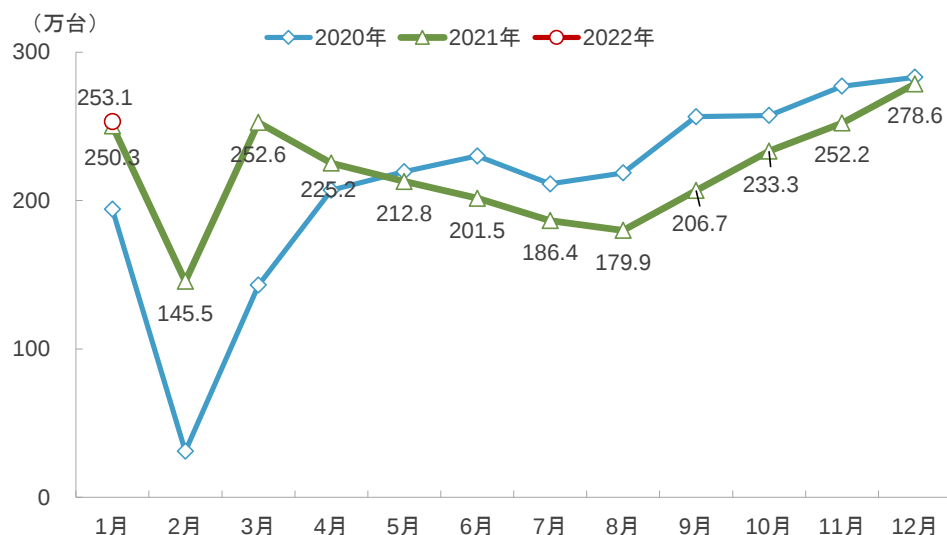
1 自動車生産・販売台数	
1.1 生産・販売台数	2
1.2 乗用車市場	3-4
1.3 高級車市場	5
1.4 日系三強	6
1.5 NEV	7-8
1.6 商用車市場	9
2 在庫	10
3 新たに発売されたモデル	11
4 業界動向	12
5 中古車市場	13
6 補助金	14-15
7 軽量化	16

1.1 自動車生産・販売台数

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

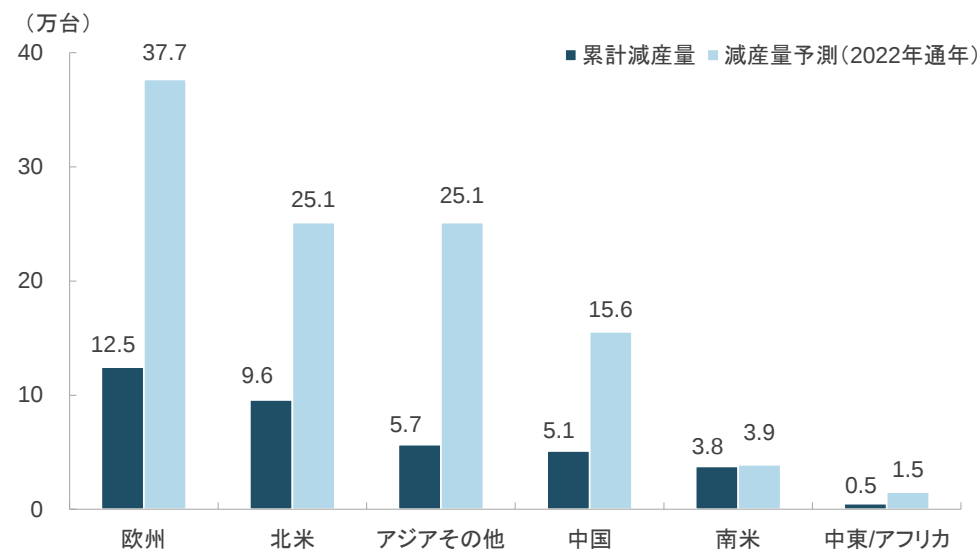
- **自動車生産・販売台数**: 2022年1月の中国自動車生産台数は前年同月比1.4%増、前月比16.7%減の242.2万台、販売台数は前年同月比0.9%増、前月比9.2%減の253.1万台。業界全体の努力の下、2022年の自動車市場は幸先の良いスタートを切り、全体として穏やかな成長トレンドを見せている。
 - ✓ 乗用車: 1月の販売台数は前年同月比6.7%増、前月比9.7%減の218.6万台。セダンとSUVはプラス、MPVはマイナスの伸びとなった。
 - ✓ 商用車: 1月の販売台数は前年同月比25.0%減、前月比5.5%減の34.4万台。
- **輸出**: 1月のメーカー輸出台数は前年同期比87.7%増、前月比3.8%増の23.1万台と好調が続いている。うち乗用車は18.5万台、商用車は4.6万台。
- **減産状況**: AutoForecast Solutionsによると、半導体不足の影響により、2月6日時点で2022年の世界自動車累計減産台数は37.05万台。うち中国の累計減産台数は5.11万台、世界減産台数の13.8%。

中国自動車月次販売台数(2020-2022)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

世界各エリアの減産台数(2022年2月6日時点)



出所: 盖世汽車訊、AutoForecast Solutionsの発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- 2022年1月、中国乗用車市場情報協会の発表した乗用車小売台数は207.8万台。乗用車企業Top15のうち、幸先の良いスタートとなったのはわずか5社、BYDは前年同月比126.7%、次いで華晨BMW、広汽ホンダ、奇瑞汽車、広汽トヨタの順。
- 同月、NEV小売台数は35.2万台、NEV乗用車Top15では、上汽GM五菱が若干下げた以外は全て大幅の伸び、Top15社のうち12社が中資系ブランド。

乗用車メーカー販売台数Top15

No.	メーカー	2021.01 (万台)	2022.01 (万台)		
				前年同月比	市場シェア
1	一汽VW	23.23	19.07	-17.9%	9.2%
2	長安汽車	14.79	14.36	-3.0%	6.9%
3	上汽VW	17.18	13.76	-19.9%	6.6%
4	吉利汽車	14.63	13.25	-9.4%	6.4%
5	上汽GM	15.00	12.00	-20.0%	5.8%
6	東風日産	12.41	11.00	-11.3%	5.3%
7	BYD	4.19	9.50	126.7%	4.6%
8	長城汽車	10.94	8.97	-17.9%	4.3%
9	華晨BMW	7.39	8.91	20.4%	4.3%
10	広汽トヨタ	8.74	8.76	0.3%	4.2%
11	上汽GM五菱	10.39	8.58	-17.4%	4.1%
12	広汽ホンダ	6.73	8.03	19.3%	3.9%
13	奇瑞汽車	6.52	7.66	17.5%	3.7%
14	北京ベンツ	8.07	7.01	-13.1%	3.4%
15	東風ホンダ	9.01	6.67	-26.0%	3.2%
Top15 合計		169.22	157.53	-6.9%	75.8%

NEV乗用車メーカー販売台数Top15

No.	メーカー	2021.01 (万台)	2022.01 (万台)		
				前年同月比	市場シェア
1	BYD	2.02	9.28	358.4%	27.1%
2	上汽GM五菱	3.00	2.97	-1.0%	8.7%
3	奇瑞汽車	0.68	1.95	185.2%	5.7%
4	Tesla	1.55	1.93	24.9%	5.6%
5	吉利汽車	0.28	1.66	489.4%	4.8%
6	広汽埃安	0.74	1.60	117.9%	4.7%
7	小鵬汽車	0.60	1.29	114.8%	3.8%
8	長城汽車	1.03	1.28	25.0%	3.7%
9	理想汽車	0.54	1.23	128.1%	3.6%
10	哪吒汽車	0.22	1.10	401.5%	3.2%
11	上汽乗用車	0.65	1.00	53.5%	2.9%
12	NIO	0.72	0.97	33.6%	2.8%
13	零跑汽車	0.17	0.81	384.7%	2.4%
14	上汽VW	0.30	0.69	126.2%	2.0%
15	一汽VW	0.37	0.55	47.5%	1.6%
Top15 合計		12.87	28.31	120.0%	82.5%

出所：中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

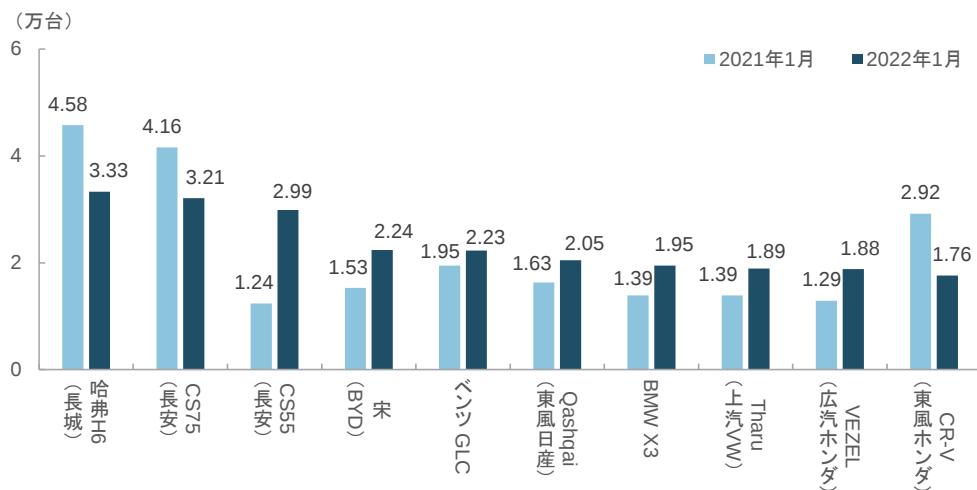
1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

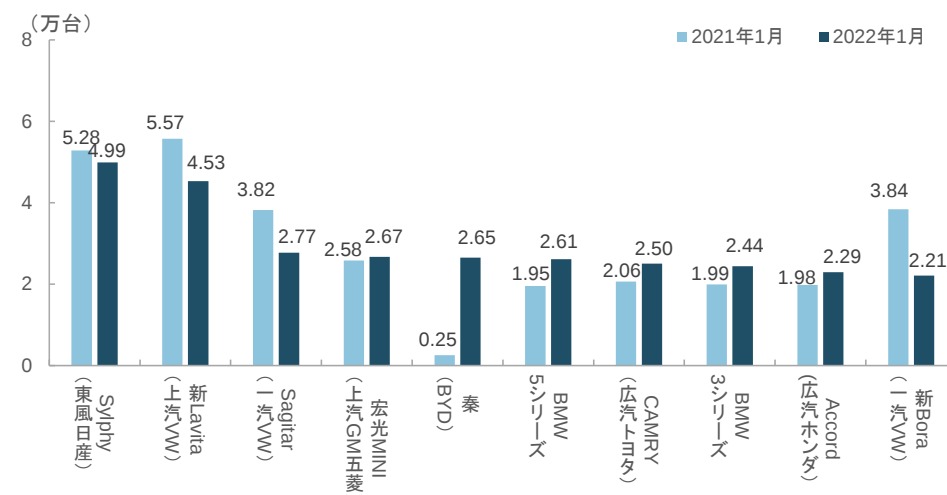
■ 乗用車タイプ別Top10:

- ✓ セダン: 2022年1月、日産Sylphyが前年同月比小幅減となったもののトップを維持。一汽VWの新Boraは同42.4%減、第10位まで順位を下げた。Top10のうちBMW 5シリーズは同33.8%増、3シリーズは同22.6%増と好調。セダン総販売台数のCR10は29.6%。
- ✓ SUV: 哈弗H6は前年同月比27.3%減と大きく下げたもののトップを維持。長安CS55は同141.1%増と好調、販売台数も3万台と哈弗H6を追い上げている。SUV総販売台数のCR10は24.1%。
- ✓ MPV: トップに君臨している五菱宏光(上海GM五菱)は前年同月比13.6%減となったもののMPV月次総販売台数の25.8%を占める。MPV総販売台数のCR10は74.2%。

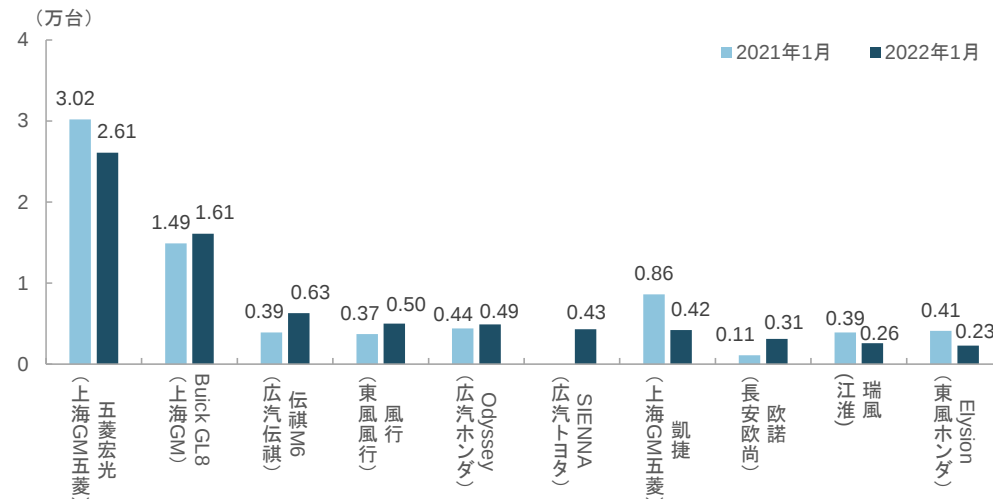
SUV販売台数Top10(2022年1月)



セダン販売台数Top10(2022年1月)



MPV販売台数Top10(2022年1月)



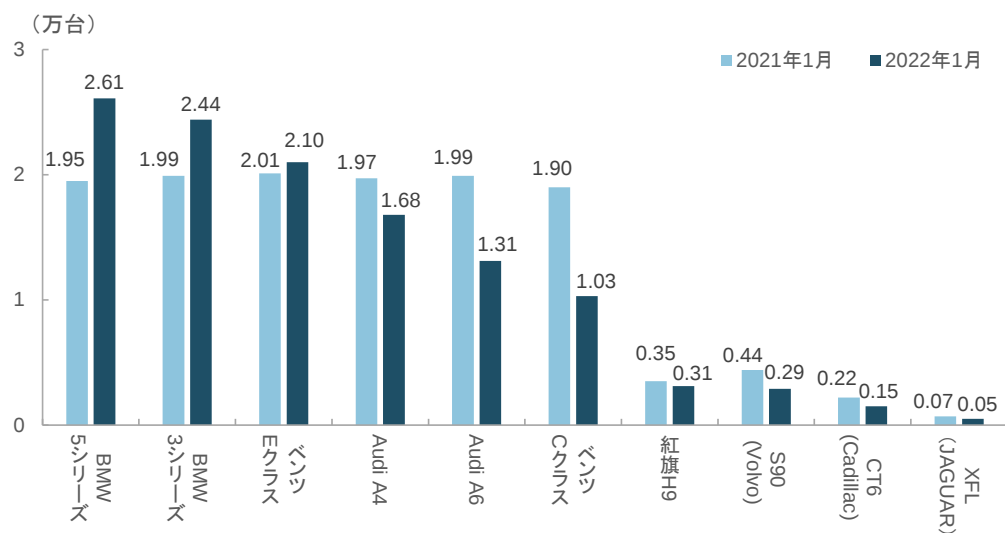
出所: 中国乗用車市場情報協会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.3 高級車市場

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

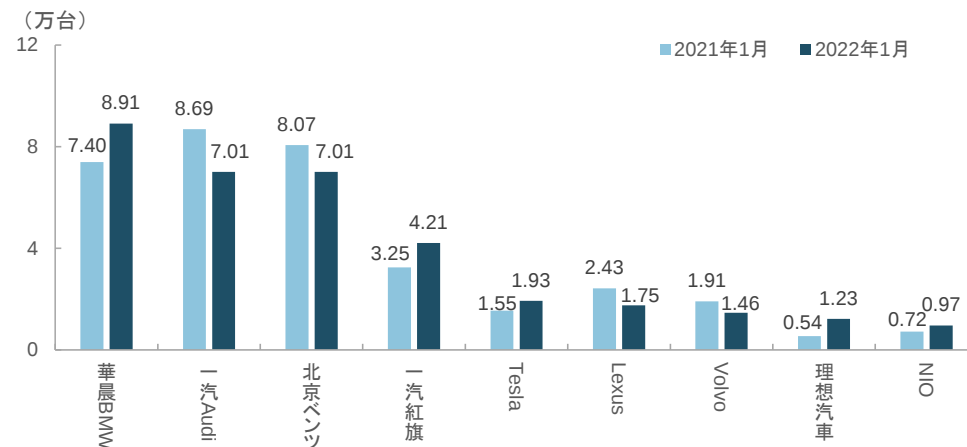
- **高級車市場**: 2022年1月、高級車販売台数は前年同月比5%減、前月比18%増の29万台。红旗ブランドが引き続き好調、Teslaは輸出が多く、今月の引き渡し台数はわずか1.93万台。
- **タイプ別**: セダンはエンジン車が中心、SUV市場ではNEVの構成比が上がっている。
 - ✓ セダン: BMW 5シリーズ、BMW 3シリーズは前年同月比2ケタの伸びとなり、第1位、2位を独占。ベンツEクラスは同4.5%増で第3位。他のモデルは全て同マイナスとなった。
 - ✓ SUV: ベンツGLC、BMW X3は2ケタの伸びとなり、第1位、2位を占めた。理想ONEは同127.8%と急成長、第5位。

高級セダン販売台数Top10(2022年1月)

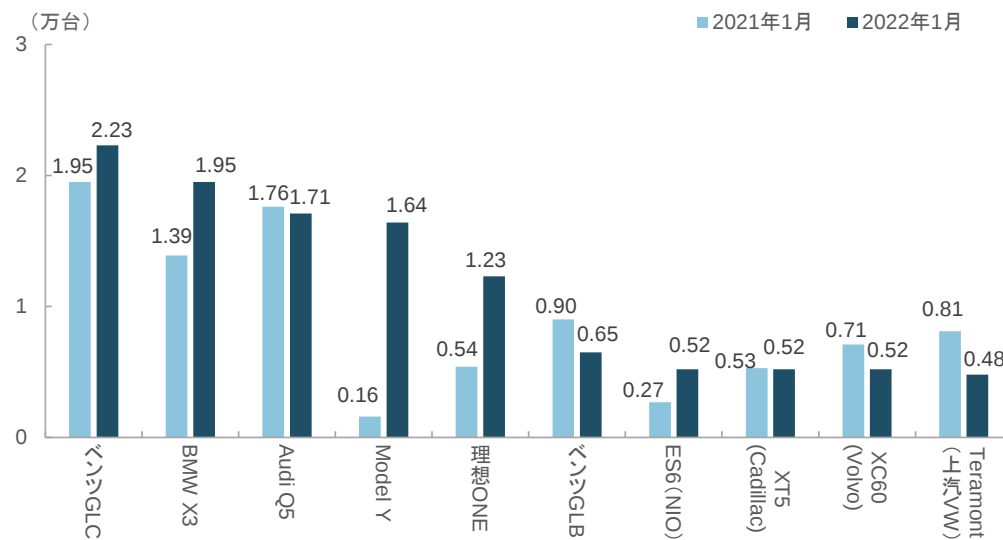


備考: 高級車は指導販売価格30万元以上の車両を指す

高級車メーカー販売台数(一部、2022年1月)



高級SUV販売台数Top10(2022年1月)



出所: 新浪汽車、中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

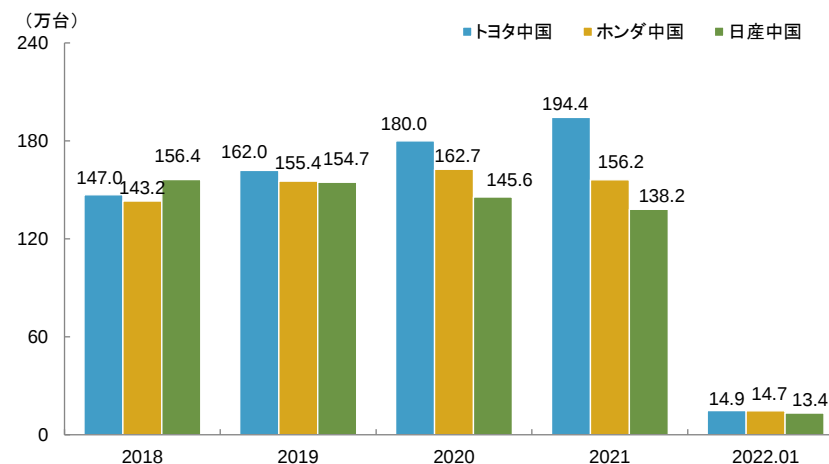
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

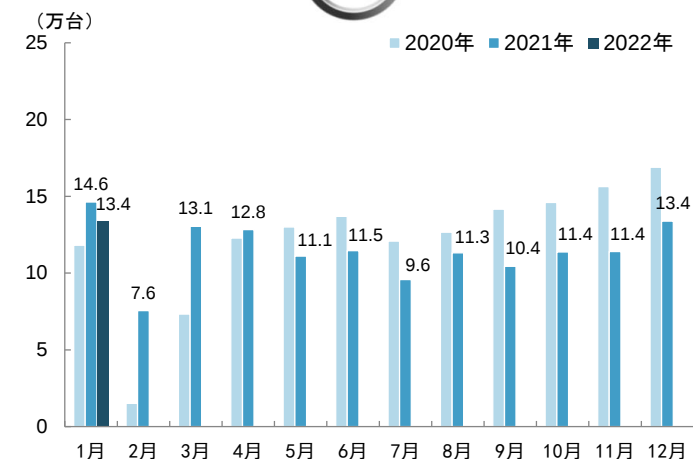
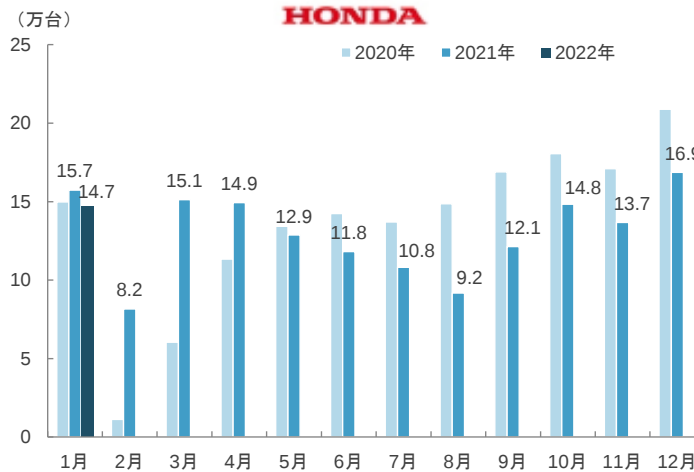
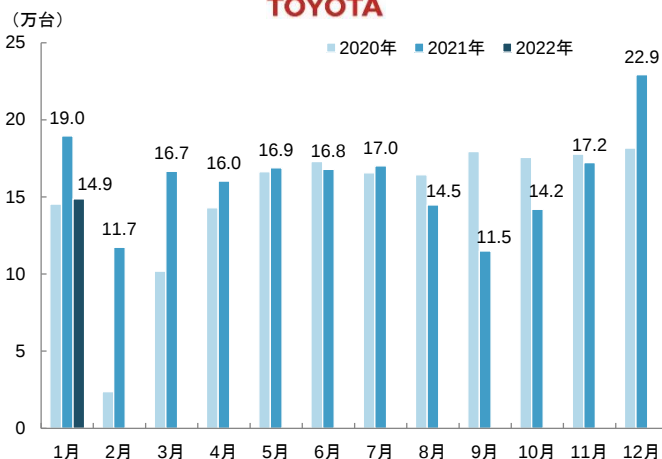
■ 日系三強: 春節による需要低下を受け、2022年1月は前年同月比、前月比共に減、うちホンダは小幅減に落ち着いている。

- ✓ トヨタ中国の1月販売台数は前年同月比21.5%減の14.88万台。コロナによる工場停止の影響で一汽トヨタの1月販売台数は同46%減のわずか4.1万台となった。广汽トヨタは同0.8%増の8.75万台。
- ✓ ホンダ中国の1月販売台数は前年同月比6.9%減の14.66万台。うち、广汽ホンダは同18.7%増の8.0万台、東風ホンダは同26.0%減の6.67万台。
- ✓ 日産中国の1月販売台数は前年同月比8.7%減の13.35万台。うち乗用車(日産、Venucia、INFINITI)の販売台数は同11.4%減の11.13万台、商用車は同7.4%増の2.21万台。

日系三強の販売台数(2018-2022)



日系三強の月次販売台数(2020-2022)



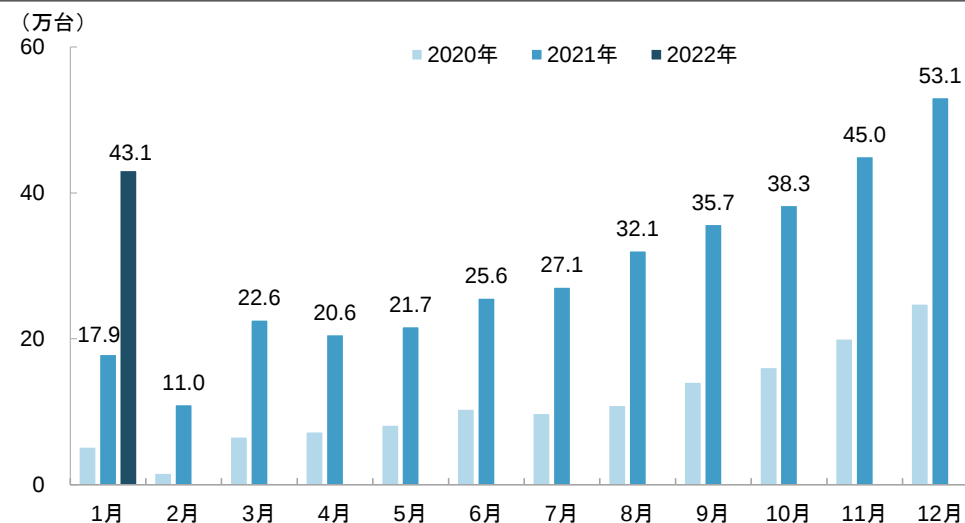
出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV①

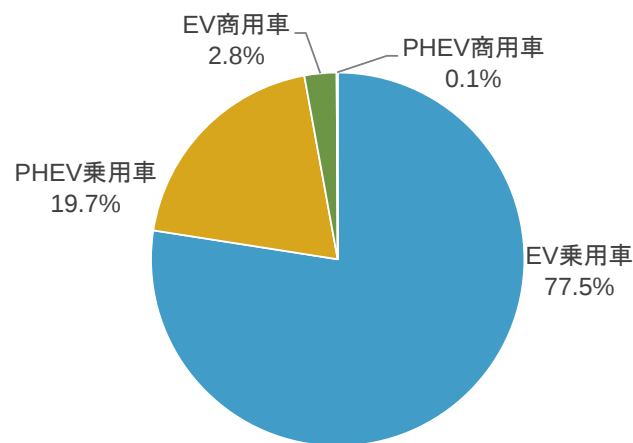
【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **高成長が続く**:1月のNEV販売台数は前年同月比2.4倍の43.1万台、うちEVは同2.2倍34.6万台、PHEVは同3倍の8.5万台、FCVは同3倍の192台。
- **販売台数構成比**:1月の販売台数構成比ではEV乗用車が77.5%、次いでPHEV乗用車が19.7%。
- **NEV構成比**:1月の新車販売台数に占めるNEV構成比は17.0%、乗用車では19.2%に達し、昨年平均を上回っている。

NEV月次販売台数(2020-2022)

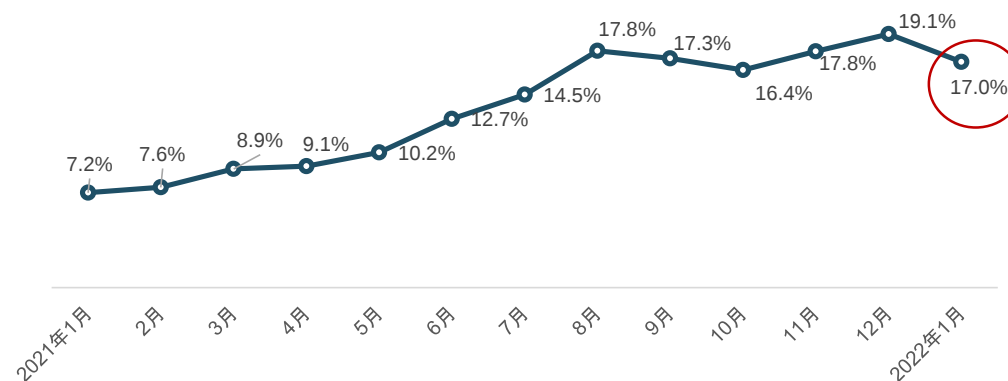


NEV販売台数構成比(2022年1月)



中国新車販売台数に占めるNEV構成比(2021-2022)

NEVの構成比



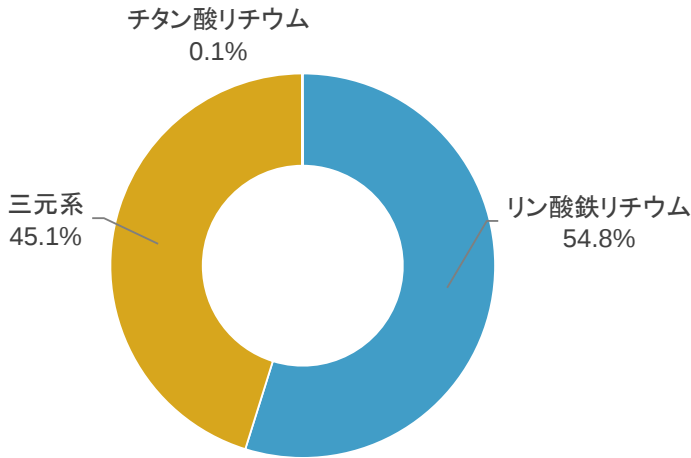
出所: 中国汽車工業協会、中国乗用車市場情報聯席会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV②

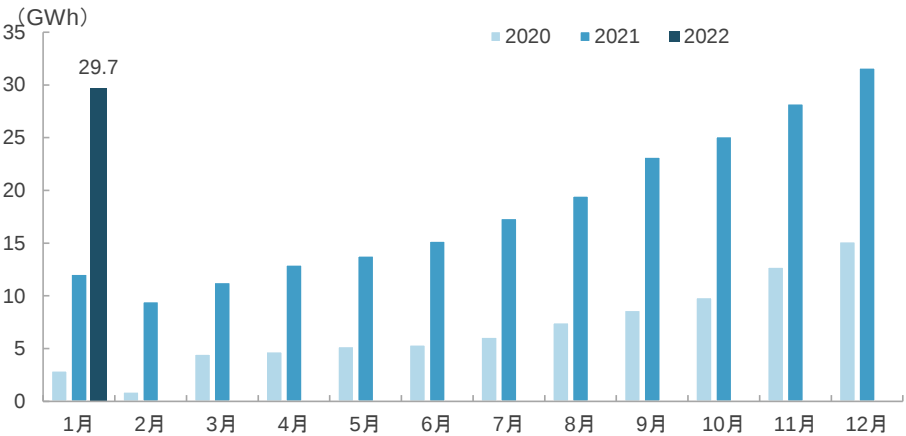
【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **動力電池**: 2022年1月、中国における動力電池搭載量は前年同月比86.9%増、前月比38.3%減の16.2GWh。リン酸鉄リチウムの構成比が54.8%と引き続き三元系を上回っている。
 - ✓ **生産量**: 1月の動力電池生産量は前年同月比146.2%増、前月比6.2%減の29.7GWh。うちリン酸鉄リチウム電池の生産量は前年同月比261.8%増の18.8GWh、総生産量の63.3%。三元系電池は同57.9%増の10.8GWhで、構成比は36.5%。
 - ✓ **Top10**: 1月は35社の動力電池が搭載、うちTop10社による搭載容量は15.34GWh、CR10は94.7%。うち、CATLが50%以上のシェアを維持している。

動力電池搭載量構成比(2022年1月)



動力電池生産量データ(2020-2022)



動力電池メーカーTop10(2022年1月)

No.	メーカー	搭載量(GWh)	シェア
1	CATL	8.13	50.2%
2	BYD	3.39	20.9%
3	中創新航	1.20	7.4%
4	国軒高科	0.94	5.8%
5	蜂巢能源	0.44	2.7%
6	億緯鋰能	0.37	2.3%
7	孚能科技	0.34	2.1%
8	欣旺達	0.23	1.4%
9	捷威動力	0.17	1.0%
10	塔菲爾	0.13	0.8%
Top10 合計		15.34	94.7%

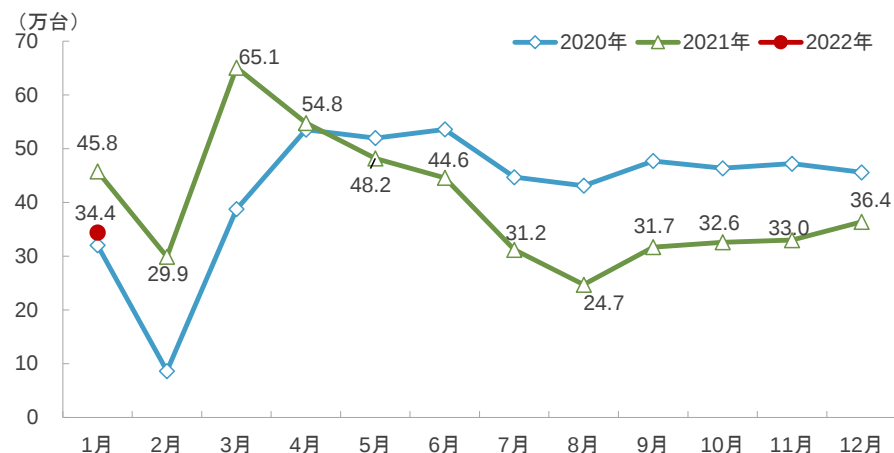
出所: 中国自動車動力電池産業創新聯盟の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.6 商用車市場

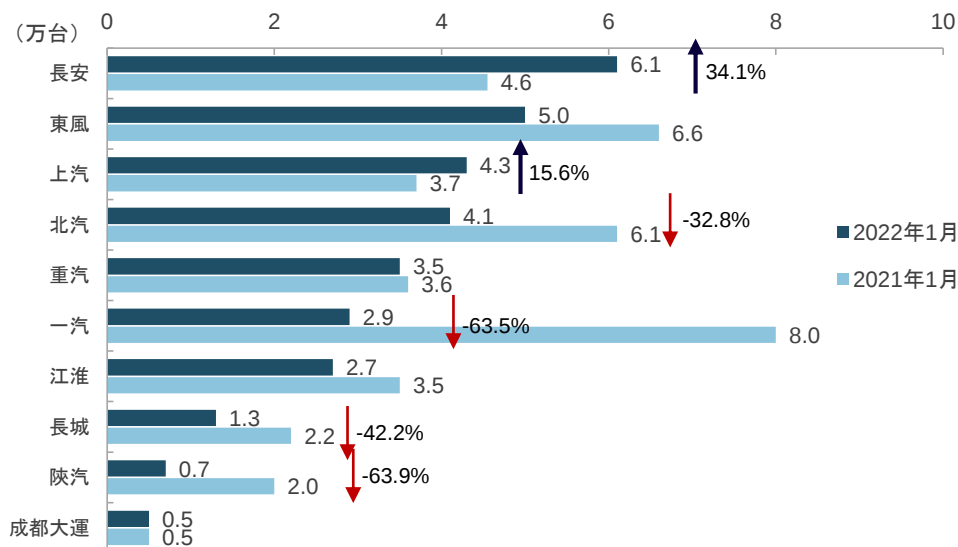
【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **商用車の生産・販売台数**: 2022年1月、商用車の生産台数は前月比9.3%減の34.5万台、販売台数は同5.5%の34.4万台、前年同月比では共に25%以上の下げ幅となった。政策及び運輸業界からの需要減が主な要因で、2022年は商用車市場にとって調整期となる見通し。
- **メーカー別**: 1月、中国商用車メーカーTop10社のうち、長安と上汽が前年同月比プラスとなった他は全てマイナスとなった。特に陝汽(-63.9%)と一汽(-63.5%)が大きく下げている。
- **小型トラックがけん引**: 車種別では、小型トラックが16.2万台と商用車全体の47.2%、次いで大型トラックが9.5万台で27.7%。バスは3.0万台で構成比はわずか8.7%。

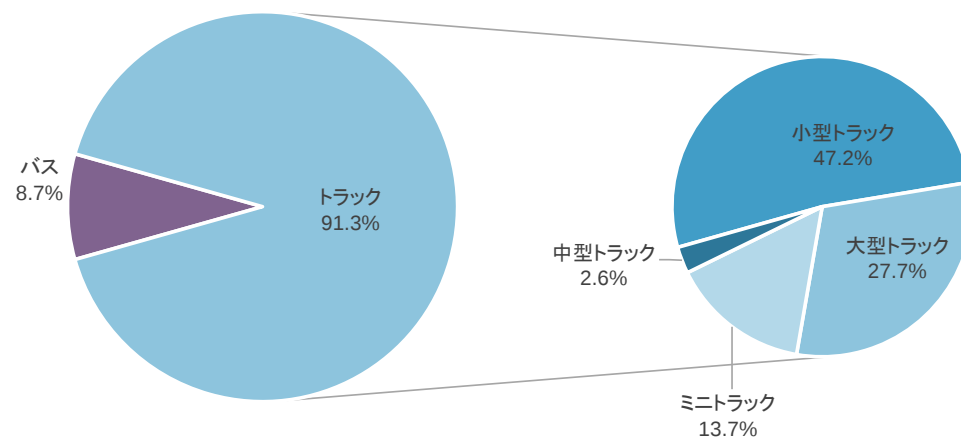
中国商用車月次販売台数(2020-2022)



中国商用車販売台数Top10(2022年1月)



商用車車種別シェア(2022年1月)



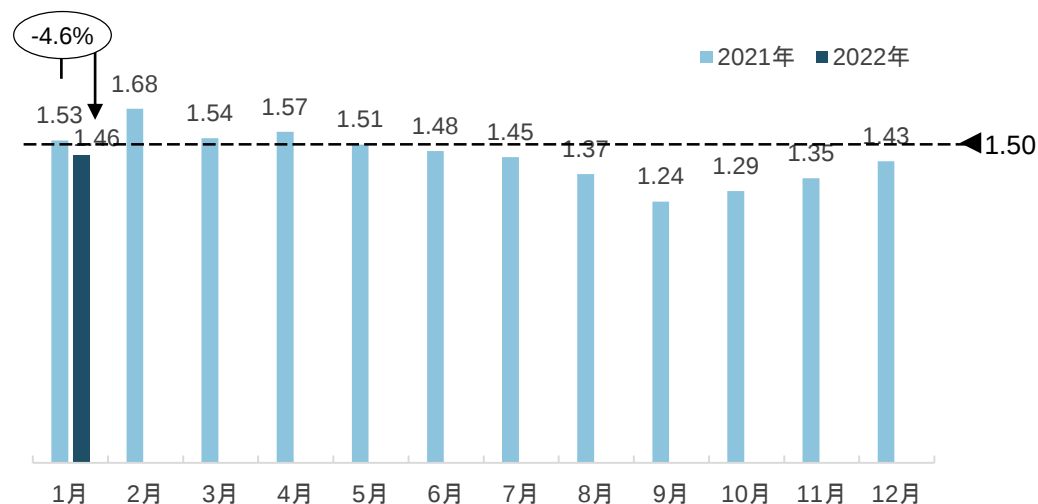
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

2 在庫動向

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

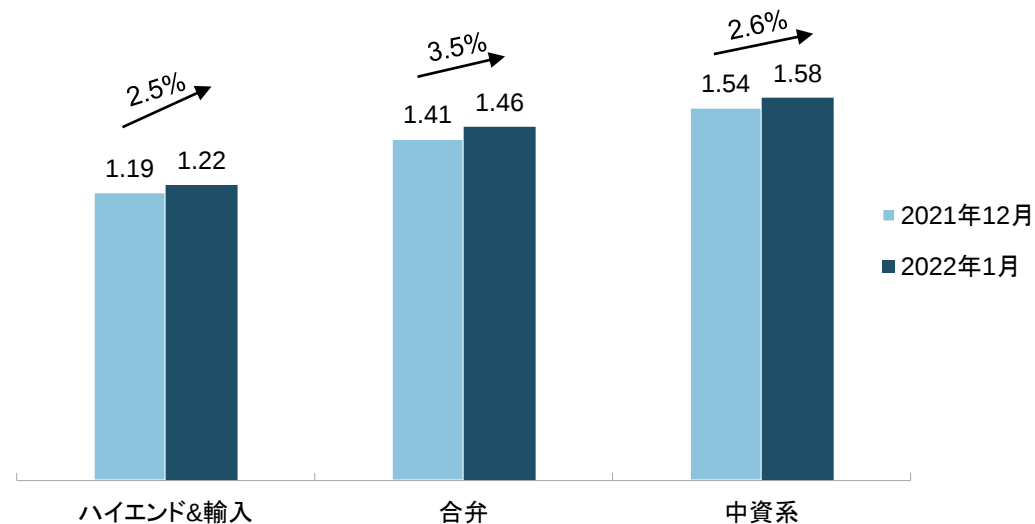
- **在庫係数**: 2022年1月のディーラー在庫係数は前年同月比4.6%低下、前月比2.1%上昇の1.46と前月に続きやや上昇となったものの、依然として警戒ラインは下回っている。半導体問題も徐々に解決に向かい、ディーラー在庫レベルも回復している。
- **ブランドタイプ別**: 春節前となった1月は、自動車の供給も徐々に回復、ディーラーも在庫を積み増したことから、各ブランドタイプ別では中資系が前月比2.6%上昇の1.58、合併系は同3.5%上昇の1.46、ハイエンド&輸入が同2.5%上昇の1.22とともに上昇した。特に中資系の在庫係数は警戒ラインを上回っている。
- **2022年2月予測**: 2月は春節後のオフシーズンにあたるため、需要は減速する。春節後のスムーズな車両引き渡しを確保するため、ディーラーは引き続き売れ筋モデルの調達に動く。2月のディーラー在庫量は小幅増となる見通し。

自動車ディーラー在庫係数(2021-2022)



説明: 中国汽流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン。

ブランド別在庫係数(2021.12~2022.01)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

3 新たに発売されたモデル(1月11日-2月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離 (NEDC標準)	メーカー
1	1.11	思皓QX	10.19-19.69	SUV	1.5T	-	江汽集团
2	1.11	POLO 2022モデル	8.99-9.99	2ボックスセダン	1.5L	-	上汽VW
3	1.12	大將軍G7	11.98-16.58	ピックアップ トラック	2.0T	-	福田汽車
4	1.14	瑞虎8 Plus PHEV	15.18-16.58	SUV	1.5T	100km	奇瑞汽車
5	1.20	COROLLA CROSS/ 銳放	12.98-16.98	SUV	2.0L	-	一汽トヨタ
6	1.17	Versailles C5 X 寅年Version	14.37-18.67	セダン	1.6T	-	東風Citroën
7	2.07	三菱NANO EV	5.28-6.28	2ボックスセダン	-	305km	三菱汽車
8	2.10	伝祺GA6	10.88-16.88	セダン	1.5T	-	広汽伝祺

出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(1月11日-2月10日)

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

No.	企業	主な動き
1	華人運通	1月17日、青島市と提携協議を締結。中国本部を青島市に設置、また高合汽車銷售服務總公司も設立する。 1月19日、財聯社の報道では、華人運通は香港でIPOし5億米ドルを調達する計画。UBS及びMorgan Stanleyと協力、早くて2022年の上場を目指している。
2	BYD 一汽集団	1月18日、一汽弗迪新能源科技有限公司設立。登録資本金は10億元、出資比率はBYDが51%、一汽集団は49%。主にNEV電池セル、モジュール及び関連付帯産業等中核部品の生産、製造を行う。
3	東風集団	1月18日、東風集団のハイエンドオフロードNEVプロジェクトが着工。2023年に操業予定、計画生産能力は10万台/年。
4	CATL	1月18日、CATLの子会社である「時代電服」は電池交換サービスブランド「EVOGO」及び電池交換ユニットのトータルソリューションを発表。電池交換ユニットのトータルソリューションは「交換用電池、交換ステーション、APP」の3大製品で構成される。
5	韓国SK	1月17日、塩城経開区にて、韓国SK 30GWhの動力電池プロジェクトが着工。SKIの中国における4番目の電池工場であり、SKIとしては初の100%出資工場。今回のSK 30GWh動力電池プロジェクトの総投資額は25.3億米ドル。
6	吉利控股 Renault	1月21日、Renaultと吉利控股集团は枠組み協議を締結、吉利汽車のCMAアーキテクチャとハイブリッド技術をベースに、韓国で生産・販売するRenaultブランドのガソリン車及びスマートPHEVを韓国以外の市場へと輸出する。
7	吉利控股 力帆科技	1月24日、吉利控股と力帆科技は合併で「重慶睿藍汽車科技有限公司」を設立。様々な動力形式の製品を打ち出していく。睿藍汽車の初となるモデルは、中大型SUV及びCoupe SUVとしている。
8	合衆新能源	1月25日、盖世汽車の報道では、合衆新能源汽车は香港上場の前に5億米ドルを調達する計画
9	韓国KIA 悦達集団	2月7日、韓国KIA株式会社と塩城市人民政府、江蘇悦達集団は投資拡大協議を締結。昨年末に東風集団が撤退後、KIAと悦達の折半出資による合弁会社について、4月に新名称を発表する予定。またこの新合弁会社に9億米ドルを増資する。
10	大搜車	2月8日、国泰大搜車(天津)融資租賃有限公司を天津経済開発区に設置。登録資本金10億元、中資系ファイナンスリースの試験運営資格を取得。

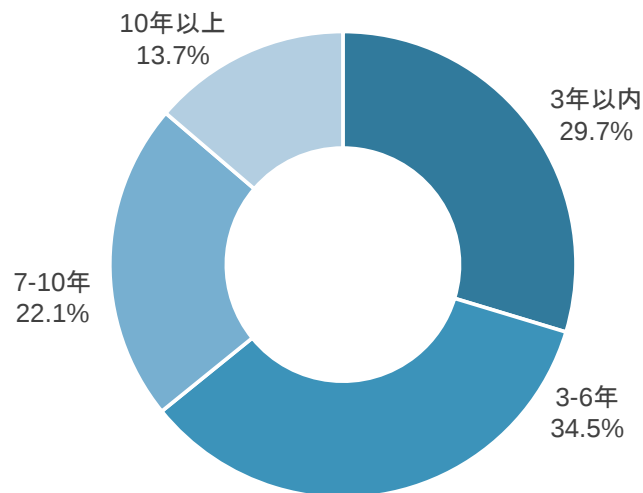
出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

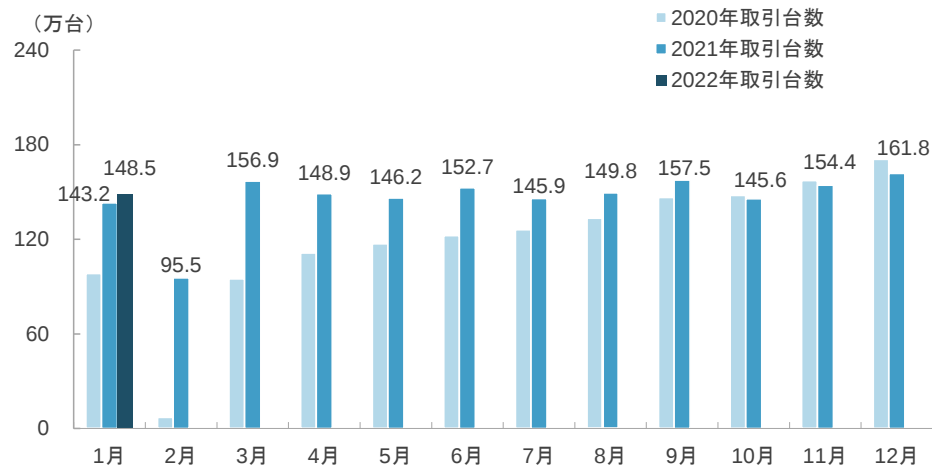
【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **中古車取引台数**: 2022年1月、中国中古車市場取引台数は前年同月比8.3%減、前月比3.7%増の148.5万台、取引額は1,052.8億元。セダン、SUV、MPVは共に前月比減、前年同月比増となった。
- **省を超えた流通状況**: 1月の中古車転籍台数は39万台、転籍率は26.3%。転籍率は昨年同月月比やや低下となった。
- **車両の使用年数**: 1月は使用年数3-6年の中古車の取引台数が多く、構成比は34.5%となった。次いで3年未満が29.7%。
- **エリア別販売構成比**: 1月、全国6大エリアの取引台数では西北エリアは減となったものの、その他エリアは全て増となった。構成比では華東エリアが依然として最大。

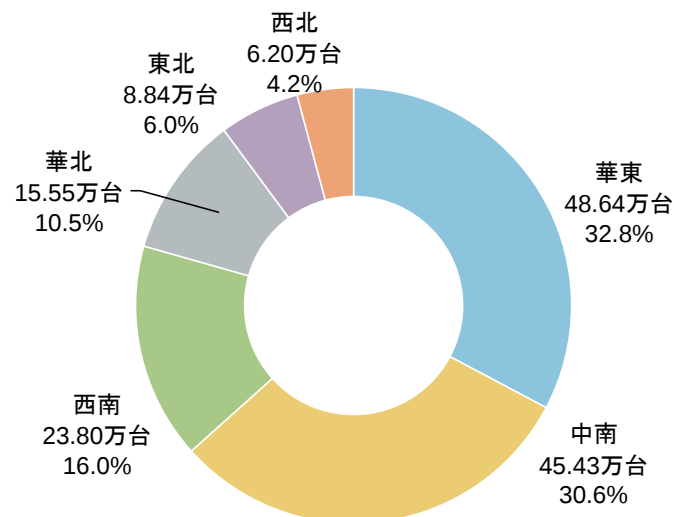
中古車取引台数使用年数構成比(2022年1月)



中古車月次取引台数(2020-2022)



エリア別取引状況(2022年1月)



出所: 中国汽流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 補助金①

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **補助金は引き続き縮小**：『2022年度新エネ車普及応用財政補助政策に関する通達』では、2022年のNEV補助金基準は2021年度より30%引き下げられる。都市公共交通、客運輸送、タクシー(オンライン予約車両を含む)、環境衛生車両、都市物流配送、郵便・宅配便、空港及び党・政府機関など公共領域向けの条件を満たしている車両に対しては、補助金基準を2021年度より20%引き下げとする。
- **補助金制度の終了日**：2022年のNEV購入補助金制度は2022年12月31日に終了、2022年12月31日以降にナンバープレートを取得する車両に対して補助金を支給しない。
- **電池交換タイプを支援**：補助金制度により車体と電池を切り離れた「電池交換」を新たなビジネスモデルとして支援。「電池交換」モデルの30万元以上のNEVについては引き続き補助金制度が実施される。

EV乗用車の補助金

領域	航続距離 (R:距離)	2021年 (万元)	2022年 (万元)
非公共領域	$300 \leq R < 400$	1.3	0.91
	$R \geq 400$	1.8	1.26
公共領域	$300 \leq R < 400$	1.62	1.3
	$R \geq 400$	2.25	1.8

備考:

- ✓ 非公共領域のEV乗用車の補助金額=Min{航続距離基準、車両電池容量×280元}×電池システムのエネルギー密度調整係数×車両のエネルギー消費調整係数。
- ✓ 公共領域のEV乗用車の補助金額=Min{距離基準、車両電池容量×396元}×電池システムのエネルギー密度調整係数×車両のエネルギー消費調整係数。

PHEV乗用車の補助金

領域	航続距離 (R:距離)	2021年 (万元)	2022年 (万元)
非公共領域	$R \geq 50$ (NEDC)	0.68	0.48
	$R \geq 43$ (WLTC)		
公共領域	$R \geq 50$ (NEDC)	0.9	0.72
	$R \geq 43$ (WLTC)		

備考:

- ✓ PHEV乗用車の補助金額=航続距離基準×車両のエネルギー消費調整係数
- ✓ 航続距離条件と車両のエネルギー消費係数は2021年と同じ。補助金前の販売価格が30万元以下であること(電池交換モデルは除く)。

出所:工業信息化部の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

6 補助金②

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **メーカーの動き**: NEV補助金制度の縮小により、車両コストが上昇、メーカー各社は自身の実力で顧客と市場シェアを掴んでいかななくてはならない。現状、メーカー各社は販売価格の値上げや、新モデルの発表により価格を新たに設定するなどの対応を採っている。

値上げ



- Model 3 を1万元値上げ
- Model Y を2.1万元値上げ



- 1月1日より、ZEEKR 001 YOU版を8,000元値上げ



- 1月1日より哪吒V、哪吒V Proを2,000元値上げ。哪吒U Proを3,000-5,000元値上げ



- 1月11日より小鹏汽車全シリーズを値上げ。値上げ幅は4,300元~5,900元



- 2月1日より指導価格を調整、値上げ幅は1,000~7,000元。



- 2月7日起、五菱NanoEV 全シリーズの価格を3,000元値上げ。



- 2月28日以前に購入した場合は2021年の基準を適用
- 2月28日より、IDシリーズを5,400元値上げ

新モデルを発売に伴い 価格を新たに設定



LEAPMOTOR
零跑汽车



- 2021年12月28日、零跑汽車2022モデルのT03を発売。グレードアップを図り、価格を6,000~7,000元引き上げた。



- 零跑C11のコンフォートパッケージフル装備のオプション価格を10,000元から15,000元に引き上げた。

AION 埃安



- 2022年1月1日、2022モデルのAION S Plusを発売。グレードアップを図り、価格を5,200~7,200元引き上げた。

出所: 全国乗用車市場情報聯席会、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

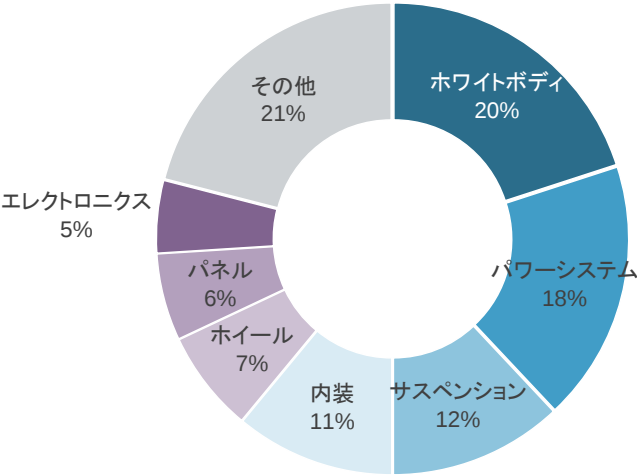
7 軽量化

【中国自動車業界レポート(2022年1月)】

- **省エネ排出削減:**『省エネと新エネ自動車技術ロードマップ2.0』では、乗用車の100kmあたり平均燃費を2025年に4.6L、2030年に3.2L、2035年に2.0Lまで引き下げるとしている。自動車軽量化は燃費を抑え、航続距離を延ばすための重要な手段である。高張力鋼、アルミ、マグネシウム合金や非金属素材などの新素材をボディに用いることで、直接的な軽量化効果を図ることができる。
- **アルミ:**アルミ及びアルミ合金は低密度、軽量、高い耐衝撃性、着色しやすいなどのメリットがあり、軽量化素材としてホイールやパワーシステム、シャシー等の部品に取り入れられている。2025年には自動車軽量化素材におけるアルミ合金のシェアは60%に達するとみられる。
- **アルミ合金はダイカストされたもの。**中国にはダイカストメーカーは12,000社ほどあるが、大型ダイカストメーカーはその10%と集約度は低い。



従来型ガソリン車における各種部品の重量構成



主なアルミダイカストメーカー及び顧客

企業名称		主要顧客
完成車メーカー傘下	精工圧鋳	長城汽車
	弗迪精工	BYD
外資 & 合併	華域Pierburg	上汽VW、一汽VW、上汽GM、吉利汽車、江淮汽車
	アーレスティ	広汽トヨタ、広汽ホンダ、航天三菱
	DGS	一汽VW、BMW、ベンツ
中資系	文燦股份	Tesla、NIO、GM、VW、奔馳
	広東鴻図	東風ホンダ、東風日産、Chrysler、小鵬汽車等
	旭升股份	BYD、吉利汽車、VW、Audi、BMW
	嶸泰股份	Tesla、理想汽車、NIO、零跑汽車
	愛柯迪	Valeo、Getrag、Knorr、BOSCH、Magna

出所: 中国汽車報等公開情報に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。